

平成 29 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 シード平和株式会社
 代表者名 代表取締役 小池 信三
 (JASDAQ・コード 1739)
 問合せ先 取締役管理技術本部長 谷口 茂雄
 (TEL: 06-4866-5388)

平成29年6月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成28年8月10日付「平成28年6月期 決算短信」において公表いたしました、平成29年6月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 6 月期第 2 四半期（累計）の業績予想数値と実績値との差異
 （平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,119	207	156	110	36.33
実績値 (B)	4,953	310	263	197	64.93
増減額 (B-A)	△165	102	106	87	
増減率 (%)	△3.2%	49.7%	68.0%	78.7%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成 28 年 6 月期第 2 四半期)	4,236	321	275	194	63.92

(注) 平成 28 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成 28 年 6 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり四半期純利益」を算定しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、建設事業における工事進行基準適用の大型請負工事の一部現場で遅延が発生したことに加え、戸建分譲事業において、宅地造成の遅延などにより工事着手及び工事完成に遅れが生じ、当初計画より引き渡し件数が減少したことなどにより、前回予想値を下回りました。

一方、利益面につきましては、不動産事業において、第3四半期以降に販売を予定していたワンルームマンションを前倒しで販売することで予定より高い利益率を確保できたこと、各セグメントで原価管理・施工管理の徹底及び諸経費削減の結果、当初予定の利益率より改善されたことなどにより、営業利益・経常利益及び四半期純利益は前回予想値を上回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、おおむね順調に推移するものと予測しており、平成28年8月10日付「平成28年6月期 決算短信」で公表した数値を据え置いておりますが、今後の業績動向を踏まえ、修正が必要になった場合には速やかに開示することといたします。

以 上